

”人権問題を共に考えよう”全学学習会 子どもの貧困と人権

— 現状分析とこの国の未来 —

2010年12月8日（水）18時～19時30分
大谷大学講堂（〒603-8143 京都市北区小山上総町）

昨年、日本では7人にひとりの子どもが、ひとり親家庭では半分以上の子どもが貧困線以下の生活をしているという衝撃的なデータが厚生労働省から発表されました。また、本年、国連子どもの権利委員会による日本に対する総括所見の中でも、子どもの貧困問題は大きく取り上げられ、子どもの貧困根絶に向けた戦略を策定することが勧告されています。子どもの時期の貧困は、単にお金がないという問題ではありません。人生の大切なスタート期にさまざまな機会を奪われる結果、人生をとおして不利な状況におかれるという深刻な問題をはらんでいます。この問題の現状や、解決に向けて何が必要なのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

講師 山野良一 氏



千葉明德短期大学講師。

「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク共同代表。

ソーシャルワーク修士（MSW・ワシントン大学）

全国児童相談所研究会、日本子ども虐待防止学会、
全米ソーシャルワーカー協会等。

『子どもの最貧国・日本』

（光文社新書 2008）

『児童虐待のポリティクス

—「こころ」の問題から「社会」の問題へ—
（上野加代子編著、明石書店、2006）

